

# 市民の第九2019

## 12月14日(土)

15:00 開演 | 14:15 開場

神戸文化ホール大ホール

神戸市営地下鉄「大倉山」駅下車すぐ  
JR「神戸」駅、阪急・阪神・山陽電車「高速神戸」  
下車徒歩約10分

ベートーヴェン

交響曲第9番 ニ短調op125「合唱付き」



指揮 朝比奈 千足

指揮:朝比奈 千足

管弦楽:神戸フィルハーモニック

ソプラノ:老田 裕子

アルト:八木 寿子

テノール:清水 徹太郎

バリトン:池田 真己

合唱指揮:伊藤 正

合唱:神戸文化ホール第九合唱団

※神戸市内の区民センター・垂水勤労市民センターで練習を重ねた  
皆さまによって結成されています。



老田 裕子  
(ソプラノ)



八木 寿子  
(アルト)



清水 徹太郎  
(テノール)



池田 真己  
(バリトン)



伊藤 正  
(合唱指揮)



神戸文化ホール第九合唱団&  
神戸フィルハーモニック

神戸文化ホールをもっと便利に!! もっと使いやすく!!

※文化ホールホームページより  
オンラインチケット販売  
※先着順にて未就学児(1歳以上)の  
無料託児コーナーを設けております。  
詳細はホームページをご覧ください。

託児申込受付 078-361-9200

## 8月14日(水) チケット発売開始!!

お問い合わせ多数の為公演4か月前よりお買い求め頂けるようになりました。

前売2,200円(税込)

当日2,500円(税込)

全席自由

チケットの購入は  
こちらから→



チケット取扱い

	北区民センター	078-593-1150
神戸文化ホールPG	078-351-3349	北神区民センター 078-987-3400
東灘区民センター	078-822-8333	須磨区民センター 078-735-7641
葺合文化センター	078-242-0414	西区民センター 078-991-8321
生田文化会館	078-382-0861	垂水勤労市民センター 078-708-8901

主催:(公財)神戸市民文化振興財団

後援:神戸市・神戸市教育委員会

公益財団法人  
神戸市民文化振興財団  
KOBE CULTURAL FOUNDATION

市民の第九2019  
フェイスブック



Ludwig Van  
Beethoven



(公財)神戸市民文化振興財団は神戸環境マネジメントシステム  
(KEMS)の認証を取得し環境保全に努めています。

# 市民の第九

P R O F I L E

## 指揮 朝比奈 千足 CHITARU ASAHINA Conductor

幼少より神戸市内に在住、県立神戸高校を経て慶応義塾大学法学部に入学。同大学卒業後ベルリン国立高等音楽学校（現芸術大学）を卒業後、クラリネットの独奏者としてデビュー。大阪フィルハーモニー交響楽団などでソリストとして演奏する。1976年からベルリン国立歌劇場の音楽監督スウィットナーの指揮助手を務め、当時の東ドイツのズール交響楽団を指揮して指揮者としてもデビューを果たす。東京都交響楽団を指揮して日本でデビューした後、新日本フィルハーモニー、大阪フィル、京都市交響楽団、オーケストラ・アンサンブル・金沢など全国各地において本格的な指揮活動を展開する。1979年に神戸市のオーケストラ設立計画に参画し、神戸フィルハーモニックの結団と同時に、音楽監督および常任指揮者となる。その後も東ドイツの各オーケストラに度々招かれて客演指揮をしている。1991年よりオーストラリア・クイーンズランドフィルハーモニーの指揮者に就任し、このオケの日本公演旅行を実現させて神戸フィルとの競演も成功させる。2009年神戸市より文化賞を受ける。2015年オーストラリア政府よりオーストラリア名誉勲章を授与される。

## 管弦楽 神戸フィルハーモニック Orchestral music

神戸市民自身のオーケストラを持ちたいという強い要望に応えるべく、1979年4月、芥川也寸志、朝比奈隆、井植貞雄、砂野仁の各氏をはじめとする多くの文化人・実業家によって、その支援母体となる「神戸市交響楽協会」が設立され、同年6月「神戸フィルハーモニック」が発足した。1980年1月のデビューコンサート以来、音楽監督・朝比奈千足のもと毎年2回の定期演奏会とニューイヤーコンサートを開催するほかにも地域に根差した活動を行う。1997年神戸市文化活動功労賞を受賞。2019年5月、運営法人として一般社団法人「神戸フィルハーモニック協会」を設立。本年度オーケストラ発足40周年を迎える。

## ソプラノ 老田 裕子 YUKO OITA Soprano

神戸市出身、大阪音楽大学大学院歌曲研究室修了。透明感のある声を活かし、オペラ「フィガロの結婚」「魔笛」「椿姫」「清教徒」「ランスへの旅」などで主要な役を演唱。また宗教曲でも数多く活躍している。

第73回日本音楽コンクール歌曲部門入選、飯塚音楽新人コンクール第一位、第9回松方ホール音楽賞大賞、平成17年度クリティッククラブ奨励賞受賞、平成19年度神戸市文化奨励賞、第33回神戸・灘ライオンズクラブ音楽賞、平成22年度兵庫県芸術文化奨励賞、平成24年度文化庁芸術祭音楽部門新人賞を受賞。現在、同志社女子大学、武庫川女子大学非常勤講師。関西二期会会員。元神戸市混声合唱団団員。

## アルト 八木 寿子 HISAKO YAGI Alto

福岡教育大学卒業、京都市立芸術大学大学院を首席修了。

《フィガロの結婚》、《アイダ》、《カルメン》、《カヴァレリア・ルスティカーナ》などのオペラに、またヘンデル《メサイア》、モーツァルト《レクイエム》、ベートーヴェン《第九》など多くの作品でソリストをつとめる。第25回飯塚新人音楽コンクール第2位。第17回友愛ドイツ歌曲コンクール第1位、第9回東京音楽コンクール第1位。第81回日本音楽コンクール入選など受賞多数。2017年トウキョウ・モーツァルトプレイヤーズでの「皇帝ティートの慈悲」、2018年関西フィル定期でのヴェルディ「レクイエム」の歌唱は、音楽誌において一際高い評価を得た。現在、京都女子大学非常勤講師。元神戸市混声合唱団団員。

## テノール 清水 徹太郎 TETSUTARO SHIMIZU Tenor

京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。第33回飯塚音楽コンクール第1位、第82回日本音楽コンクール入選他多数上位入賞。文部科学大臣賞をはじめ、平成29年度坂井時忠音楽賞、平成30年度兵庫県芸術奨励賞他多数受賞。宗教曲で多数ソリストを務める他、オペラ公演でも多数主演・出演。びわ湖ホール四大テノールメンバーとして、全国各地の会場やテレビ・ラジオに出演。ソロでもNHK-FM「リサイタル・パッシオ」に出演、高評を得る。日本演奏連盟所属。兵庫県音楽活動推進会議委員。京都市立堀川音楽高校、京都市立芸術大学、大阪音楽大学、京都女子大学各講師。音楽事務所パルテンツァ所属。びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー。元神戸市混声合唱団団員。

## バリトン 池田 真己 MASAKI IKEDA Baritone

1990年生まれ。大阪と京都の境目、島本町在住。大阪府立春日丘高校を経て京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。第37回飯塚新人音楽コンクール第2位。2017年第九交響曲日本初演の鳴門市で第九ソロデビュー。市民の第九2017では垂水勤労市民センターにて垂水クラス合唱指導を務め、同2018ではバリトンソロで初登場し、今回2年連続の出演で初の神戸文化ホールでの第九歌唱となる。2019年3月オペラde神戸「ラ・ボエーム」マルチェッロ役で本格的なオペラデビューを飾り、6月には日生劇場にて「ヘンゼルとグレーテル」父役で東京デビューを果たした。2018年から「サントリー1万人の第九」指導者。現在、神戸市混声合唱団団員。

## 合唱指揮 伊藤 正 TADASHI ITO Choir conductor

ミラノヴェルディ音楽院在学中よりブルーノ・カゾーニ氏(現スカラ座合唱指揮者)の元、ポメリッツィョムジカーレ合唱団にソリストとして参加。帰国後、オペラに出演する他、大阪フィルハーモニー合唱団の指導をはじめ、『市民の第九』合唱団指揮や主宰する混声合唱団「コーロムジカヴィーヴァ」にてバッハ、ヘンデル、モーツァルトなどの宗教曲を演奏している。JR摂津本山駅北側「ムジカヴィーヴァ」でヴォイストレーニング、世界の名歌などの講座を開講。2017年、初のソロアルバムをリリース。関西二期会、神戸東灘ロータリークラブ会員。

## 合唱 神戸文化ホール第九合唱団 Chorus

合唱経験初心者から、第九経験者までが「神戸文化ホールで第九を歌おう！」という熱い想いのもと、市内5つの区民センターと垂水勤労市民センターにて練習を重ね、結成した混声合唱団。初心者コースは全8回、経験者コースは全10回の練習を経て、更に10月より全合唱団が神戸文化ホールにて、5回の練習を経験し本番に挑む。また「市民の第九」関連行事として、毎年6月開催の「みんなでハレルヤ！」コンサートに出演。精力的に研鑽を重ねている。